

健康づくり推進協議会の開催

事業実施主体:守山市(滋賀県)

- 守山市健康づくり推進協議会は、市の健康づくり計画である「第3次健康もりやま21」、「第3次守山市食育推進計画」ほか2計画に基づく事業を一体的に推進し、効率的かつ効果的な健康づくり施策を展開することを目的として設立。
- 令和4年度に実施した「第2次健康もりやま21市民アンケート調査」では、食育に関する市民は80.5%(前回調査71.8%)と関心は高まっているが、塩分摂取量の増加や野菜摂取量の減少など、食育の取組効果が伴っていない。
- 地域の健康課題を解決するために、市内スーパーと協働で「推定野菜摂取量測定イベント」の開催と「産学官連携した食育の推進・レシピ展開」を実施し、市民に食育の実践について啓発した。

滋賀県



【取組の内容】

- 健康づくり推進協議会の開催(協議会 年2回、庁内会議 年2回)

守山市健康づくり推進協議会及び庁内会議を開催し、イベントの実施方法や園給食を通じた食育の推進について検討・評価。

・推定野菜摂取量測定イベント

休日のショッピングセンターで野菜摂取の促進及び健康相談を実施し、行動変容を促した。また、健康イベントとしても展開し、食育SATシステムを用いた食事状況調査等を実施した。



(推定野菜摂取量測定の様子)



・産学官が連携した食育の推進・レシピ展開

スーパー、大学、市が連携し、健康的な食の推進を実施した。大学と市でレシピを開発し、園給食での提供やレシピを商品化し、スーパーで販売することにより、食育推進を図り、自然に健康になれる食環境づくりを行った。

(作成したレシピ集)

【取組の成果】

- 健康づくり推進協議会にて、推定野菜摂取量測定イベントの実施方法の検討や産学官連携した食育の推進についての報告を行ったことで、イベントや食育の推進事業が、より適切かつ効果的に実施され、市民の食に対する行動変容を促すことができた。

- 市内スーパーで実施したイベントでは、買い物ついでの健康無関心層もイベントに取組むことができ、野菜へ興味を持つ人の増加、野菜摂取量の増加につながった。

【事業の目標】

- ① 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合

事業実施前 69.0%

→事業実施後 81.3%

- ② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合

事業実施前 45.1%

→事業実施後 64.4%

